

2015年6月29日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報第36号

イパネマ地区で強盗事件に伴う銃撃戦が発生

当地主要紙オ・グローボ電子版 G1 によれば、6月28日（日）夕方、リオ市内イパネマ地区の路上で強盗事件が発生し、その際、犯人と近くにいた警備員（非番勤務中の軍警察官）との間の銃撃戦に発展しました。

1 事件の概要

- (1) 28日（日）午後4時30分頃、伯人女性（23歳）がイパネマ地区のバラオン・ダ・トッヘ（Barao da Torre）通りを歩いていたところ、同通りとアニバル・デ・メンドンサ（Anibal de Mendonca）通りとの交差点にさしかかったところで、強盗（2人組・バイクに乗車）に襲われた。
- (2) 後部座席に乗った犯人が、女性にけん銃を突きつけ、現金等が入ったカバンを差し出すよう要求した。
- (3) 女性が助けを呼ぼうと抵抗したところ、犯人は女性の顔を殴り、怪我を負わせた後カバンを強奪した。
- (4) 近くに居合わせた警備員（非番勤務中の軍警察官）が犯人の乗車したバイクに向けて2発発砲し、1発が後部座席に乗車した犯人に命中したとみられるが、犯人らはそのまま女性の所持品を持って逃走した。

2 当館から

現場となったバラオン・ダ・トッヘ通りは、邦人を含む多くの外国人が行き交うイパネマ地区の目抜き通りです。発生時間も日没前で、人通りの多い時間帯でした。

【強盗に遭ってしまったら】

万が一、強盗に遭ってしまった場合は以下の点に留意して下さい。また、警察（観光警察・21-2332-2924）に被害届を提出した上、総領事館までご連絡下さい。

- 決して抵抗せず、相手の要求に素直に従う
- 慌てず騒がず、冷静に対応する
- 相手に無断でポケットや懐には手を入れない
- 急な動作をしない。
- 相手の顔を直視しない（顔を覚えられたと受け止められる）